

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5～7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	文化芸術観光創造事業費	鹿野町を拠点に演劇を通じて地域振興を図っている「鳥の劇場」と連携し、舞台演劇を活用した特色ある観光誘客に取り組むことで滞在型観光の推進及び観光消費の拡大をめざす。	①旅行商品造成のための旅行会社向けモニターツアーの実施 令和5年8月30日(水)～31日(木) ②「ONSENガストロノミーウォーキング」の開催 令和5年10月1日(日)	旅行代理店向けのモニターツアーを実施することで、商品造成に繋げるための課題を検証することができた。また、鹿野町をウォーキングコースに地元食材の提供や「鳥の劇場」を周遊させることで、鹿野城下町や「鳥の劇場」の認知度の向上につなげることができた。	引き続き鳥の劇場と連携した新たな旅行商品開発のためのモニターツアーを実施する。また「ONSENガストロノミーウォーキング」については参加者の増加に向け情報発信を強化し、誘客促進を図るとともに観光消費の拡大につなげる。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	206
2	○	周遊観光促進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	本市の観光スポット等を巡る格安周遊観光タクシーの運行を支援することで、観光客の誘客と周遊促進を図る。	国内及び外国人観光客を対象とする、3時間1台3,000円で乗車ができる格安周遊観光タクシーの運行支援を行い、周遊促進を図った。 ・運行台数：2,950台(うち国内：1,178台、国外1,772台) ・利用客数：6,464人	コロナ禍の影響により中断していた外国人観光客も対象に運行し、国内外からの誘客、周遊促進を図った。	今後は外国人観光客を対象に運行し、インバウンド需要のさらなる獲得に取り組む。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	206
3	○	国際観光推進事業費	インバウンド需要の本格的な回復を見据え、外国人観光客の受入体制の整備や、効果的なプロモーション活動等を展開し、インバウンド誘客による地域経済の活性化を図る。	①台湾向け誘客プロモーションの実施 ・SNS・Webサイトでの情報発信 ・FAMツアーの開催 ②欧米豪向け誘客事業の実施 ・外国人向け旅行サイトを活用したPR ③「国際観光客サポートセンター」の運営	台湾や欧米豪を中心に、効果的な情報発信を行い、外国人観光客の誘客を図った。また国際観光客サポートセンターの外国人観光客の案内件数がコロナ前の7割ほどに回復しており、案内拠点としてのサービスの充実にも努めた。	台湾など東アジアを中心にプロモーション活動に取り組むとともに、SNS等を活用した効果的な情報発信を行うことで、更なる誘客促進につなげる。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	207
4	○	国際観光推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	インバウンド需要の本格的な回復を見据え、二次交通の整備を行い、外国人観光客の獲得による地域経済の活性化を図る。	関西方面(大阪、姫路)から鳥取行き的高速バスに対し、外国人向け特別乗車料金(1,000円)を設定した高速バスを運行し、誘客促進を図った。 【大阪】利用者数：大人1,326人 小人69人 【姫路】利用者数：大人58人 小人1人	回復が顕著な外国人観光客の二次交通として利用され、本市への誘客を図ることができた。	引き続きインバウンド需要の獲得に向けバスを運行し、さらなる誘客促進を図る。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	208
5	○	砂の美術館管理運営費	本市を代表する観光施設「鳥取砂丘砂の美術館」において、世界トップレベルの砂像の制作をはじめ、展示テーマに合わせた集客イベントなどを実施し、砂丘周辺への誘客促進を図る。	①砂像制作等に関する事業の実施 ・砂の美術館総合プロデュース業務 ・砂像制作作用の砂精製業務 ②指定管理施設の管理及び運営等	第14期展示の入館者数は585,762人(令和5年度：348,172人)、経済効果は171億2千万円(令和5年度：103億7千万円)となり、コロナ禍からの地域経済の復興・再生に貢献した。	外国人観光客や国内・団体旅行客等の増加に向け、集客イベントや、SNS等による広報などを幅広く展開し、さらなる地域経済の活性化を目指す。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	211
6		砂丘管理事業費	本市を代表する鳥取砂丘の受入環境の整備や、観光客に対するおもてなしの向上に取り組むとともに、鳥取砂丘未来会議など関係団体と連携し、保護保全や利活用に取り組む。	①砂丘海岸の漂着ゴミの処理 ②砂丘及び周辺の景観保全と利活用 ③大型連休等における砂丘周辺道路の渋滞対策	砂丘海岸の清掃や除草等により、景観の保全を図った。 また大型連休には砂丘周辺道路の渋滞対策を行い、渋滞の緩和を図ることができた。	県等と連携し、美しい鳥取砂丘の景観を保全するための除草や清掃等に取り組むとともに、砂丘周辺の渋滞対策など観光客の受入体制の充実に取り組む。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	214

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
7	○	広域観光開拓・推進事業費	本市を含む麒麟のまち圏域1市6町が連携し、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の運営や活動に対して支援を行い、圏域への誘客や観光消費額の拡大による地域経済の活性化を図る。	①周遊促進事業 ■SNSを活用した情報発信と周遊促進 ・若年層を意識した動画等217件をInstagramやTikTokで発信（閲覧数295,757件、いいね11,818件） ②流通整備事業 ■3DMO連携 山陰海岸ジオパーク周遊ルート造成 ・モデルルート3コースの造成、海外旅行会社向けFAMトリップ3回開催、海外OTAによるコンテンツ販売の実施 ■ローカル鉄道を活かした周遊促進 ・モデルルート4コースの造成、海外旅行会社向けFAMトリップ2回開催、海外OTAによるコンテンツ販売の実施 ③マーケティング事業 ・麒麟のまちWEBアンケート調査への送回答件数：3,499件 ④観光DX推進事業 ・「このへん共和国」を令和5年10月設立。このシステム開発や会員募集のためのSNS広告、クーポンキャンペーン、参加店の募集・登録・サポート等を実施。 ・令和6年3月末現在：会員数6,678人、参加店数184店舗	SNSや観光DXによる効果的な情報発信により圏域等の認知度の向上を図った。また山陰海岸ジオパークやローカル鉄道を活かした広域周遊ルートを造成し、インバウンド需要の獲得に向けた受入環境の強化を図った。さらに、WEBアンケートや観光DXによるマーケティング環境の充実に取り組んだ。	観光DX等を通じた効果的なマーケティング分析により圏域への観光誘客を図るとともに、海外向け販路の開拓やツアーオペレーション機能の構築によるインバウンド需要の獲得と受入態勢の強化を図る。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	214
8	○	観光産業育成支援事業費	観光事業者が取り組む誘客活動や、受入環境の整備等に対し支援を行うことで、本市の観光産業の育成及び観光振興を図る。	①鉱泉源の維持管理（施設整備・改修等）への支援 2件 ②外国人観光客の誘客促進への支援 2件 ③観光商品開発・販路開拓への支援 3件 ④観光客誘客イベントへの支援 4件	観光事業者が取り組む誘客活動や、受入環境の整備などに対し支援を行うことで、本市の観光産業の育成及び観光振興を図ることができた。	引き続き、観光事業者による誘客活動や、受入環境の整備などに対し支援を行うことで、本市の観光産業の育成及び観光振興を図る。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	215
9	○	山陰海岸ジオパーク事業費	ユネスコ世界ジオパークの再認定審査を見据え、山陰海岸ジオパーク推進協議会や関係府県市町などと連携し、鳥取砂丘をはじめとするジオサイトの保全や、教育、観光など各分野での積極的な活用を図る。	①ジオパーク校外学習支援（市内38校（全体の84.4%）、延べ参加児童数2,013名） ②ガイド養成講座の実施（3回開催、延べ参加者数45名） ③ガイド交流会の実施（参加者数18名） ④老朽化したジオパーク看板の補修 ⑤散策マップ等の制作 ⑥山陰海岸ジオパーク推進協議会、山陰海岸ジオパークへの負担金の拠出 ⑦多鯉ヶ池の木道の整備	市内ジオサイトの滞在環境を向上させるとともに、広報物の整備などにより魅力発信や周遊促進に取り組んだ。また、ガイドの育成等の活動も継続して行うことができ、観光客の受入態勢の強化を図ることができた。	ユネスコ世界ジオパークの認定継続のため、引き続き教育や普及啓発、民間活動の支援を行っていくとともに、リゾートホテルの開業等も見据え、鳥取砂丘や多鯉ヶ池などの滞在環境の向上に努める。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	215
10	○	鳥取砂丘西側整備事業費	将来的なインバウンド需要の回復を見据え、旧砂丘荘・旧青年の家跡地を活用したリゾート型宿泊施設の誘致や、柳茶屋キャンプ場やサイクリングターミナルの新たな活用を図り、砂丘西側エリアの滞在環境の上質化を図る。	①リゾートホテルの誘致 令和5年10月にホテル事業者とマリOTT・インターナショナルとの間で本契約が締結され、ホテルブランドが5つ星の「ラグジュアリーコレクション」に決定。 ②県市の3施設を活用した民間サービスによる一体的な運営 柳茶屋キャンプ場、サイクリングターミナル、こどもの国キャンプ場（具施設）を一体的に活用する公募型プロポーザルを実施し、「株式会社ヤマタ鳥取砂丘ステーション」を採択。令和6年4月の開業に向けた施設の改修等を実施。 ③県との連携協約に基づく情報発信の強化 鳥取砂丘特設サイトの開設	リゾートホテル開業に向けたホテル事業者との連携や西側3施設を一体的に活用した施設整備などにより、砂丘西側の滞在環境の上質化が進化した。	キャンプ場、ゲストハウス、グランピングの3施設からなる「ヤマタ鳥取砂丘ステーション」が令和6年4月に開業。リゾートホテルについては、引き続きホテル事業者と連携し、早期の開業を目指す。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	216

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
11	○	まちなか観光推進事業費	復元整備が進む史跡鳥取城跡周辺をはじめ、まちなか観光の振興を図ることで、滞在型観光の推進につなげる。	①鳥取城跡ライトアップの開催 令和5年7月22日(土)~11月26日(日)の金土日、祝日とその前日、お盆(8/14,15)計64日間 ②鳥取城跡ときめきマルシェの開催支援(年8回)※主体:鳥取市観光コンベンション協会 ③商店街エリア魅力化・賑わい創出事業の実証実験 ・若桜街道商店街での影絵投影及び提灯の設置点灯 令和5年11月10日(金)~11月26日(日)(17日間) ・若桜街道商店街灯りにぎわいワークショップの実施 令和5年11月10日(金) ④鳥取城二ノ丸三階櫓ARの開発 令和5年9月24日(日)~運用開始 ⑤鳥取城跡周辺の公衆無線LAN(無料WiFi)環境の維持	鳥取城跡ライトアップの継続とそれに伴うにぎわいイベントの実施、ARを用いた新たなコンテンツの開発により、城跡周辺の賑わい創出につながった。また、若桜街道商店街での実証実験により、夜間の商店街エリアの魅力向上を図ることができた。	鳥取城跡周辺をはじめ、まちなか観光の振興と滞在型観光の推進を図るため、新たなコンテンツの開発など、さらなる賑わいづくりや観光資源の磨き上げを進める。また、情報発信を強化し、城跡周辺への誘致を図る。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	217
12	○	わっぴいな祭事業費	地域住民団体との共催によるイベントをわっぴいな祭の一環として開催、城下町の空き家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元(じげ)のひと・ものを集める取組を実施する。 また、旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。	・城下街なみPR事業 鹿野城下町の町並みを活かし、空き家等を利用して週末だけのまちな店【9月16日、17日、23日、24日、30日、10月1日】を開催。 ・農産物、特産物販売促進事業 鹿野えももん市【5月21日、10月29日】開催、河内実樹の里山まつり【11月4日】開催、またSNSを利用した#うれしかの事業を展開。 ・芸能発表、作品展示事業 鹿野往来交流館で鹿野町文化団体10団体の作品展示【10月4日~10月30日】、鳥の劇場で芸能発表【10月29日】を開催。延べ来場者人数:約6,500人	城下町の空屋を利用して店舗、特産物販売、文化団体の作品展示など地元(じげ)の人とものを集める取組を実施。また舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業の一環として鳥の劇場と連携した芸能発表を実施。	今後も継続して事業を実施するとともに、舞台芸術を核とした賑わいづくり事業の推進を図る。	鹿野町総合支所	鹿野町総合支所地域振興課	346
13	○	鳥取城跡周辺利用者利便性向上事業費	駐車場の満空状況や公共交通情報等を一元化することで、空き駐車場への誘導、ウォークアブルなまちづくりの推進など、利用者の利便性向上を図る。	鳥取城跡周辺駐車場満空情報確認システムの構築	観光客等がスマートフォンなどで鳥取城跡周辺の主要駐車場の満車・空車情報の確認と、駐車場から鳥取城跡までの100円循環バス「くる梨(緑コース)」のリアルタイム情報の確認がスムーズにできることで、簡単・便利にパーク＆ライドが可能となり、鳥取城跡観光の利便性向上を図ることができた。	システムを安定的に稼働し、観光客の利便性向上を目指す。	企画推進部	政策企画課	364